

こんなことができます!

環境計画、環境教育 (原子力・放射線教育を含む) を支援します



夢

福島第一原発事故の教訓を
踏まえた環境計画、環境教育
を広く展開したい

共生システム理工学類

後藤 忍

GOTO Shinobu

准教授 博士(工学)

専門分野

環境計画、環境システム工学、環境教育

特許情報、著書、論文

「福島第一原子力発電所の事故後における
福島県の物質フローの推計」、福島大学地域
創造、Vol.26、No.1、15-32、2014年
『みんなで学ぶ放射線副読本～科学的・倫
理的態度と論理を理解する～』、合同出版、
2013年
「チェルノブイリ博物館とコミュン福島の展
示を比較して」、フクシマ・アクション・プロジェ
クト事務局『「コミュン福島」は3.11以降の
福島をどう伝えているか』、7-68、2018年



ふくしま環境フェスタ 2017 に出展した自転車発電体験のブースの様子



環境計画について幅広く研究して
います。具体的には、1)地理情報
システム (GIS) を活用した生物生
息空間の計画、2) 資源・廃棄物
の流れを把握する物質フローの分析、3) 環境
計画の進行管理に貢献する環境指標の開発や
環境負荷の“見える化”、4) 人々の意識・行動
の変革を促すための環境教育教材の開発や環
境メディアの特性分析、などです。1)～3) は地
方自治体の環境基本計画等との関連性も深く、
実際の計画策定にも携わってきました。4) につ
いては、小学生対象の環境教育事業を2001年
から協働で実施してきた他、3.11後は原子力・
放射線教育の教材開発も行っています。

想定するパートナー

国、地方自治体、NPO・NGO

具体的な連携、事業化のイメージ

環境指標による評価、物質フローの推計、環境教
育事業の企画・運営

これまでの取組事例

<環境計画の策定に携わった事例>
・福島県環境基本計画(2004～2014年)
・福島県循環型社会形成推進計画における福島県の物
質フロー推計(2007、2011、2014年)
・福島市再生可能エネルギー導入推進計画(2015年)
<環境教育、普及啓発イベントに携わった事例>
・ふくしまエコ探検隊(福島市、2001年～現在)
・環境省3R推進マスター(環境省、2007年～現在)
・ふくしま環境フェスタ(福島市、2013年～現在)

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

